

氏名 鈴木 彰文 ( )				
研究分野		所属学会等の名称		
医用生体工学		日本生体医工学会、電子情報通信学会、日本超音波医学会、日本音響学会、IEEE		
担当授業科目名 電気工学Ⅱ、電気工学Ⅲ、生体計測装置学、情報処理工学、電気工学演習Ⅱ、電気工学演習Ⅲ、情報処理工学演習Ⅰ、情報処理工学演習Ⅱ、生体計測装置学実習、電気工学実験、電子工学実験、生体信号処理特論(大学院)				
教育上の能力に関する事項				
事項		年	概要	
1 教育の実践例、教育に関する評価等 電気工学の教育方法(2年次)		2010年	操作の簡単な回路シミュレーションソフトを利用し、国家試験の出題対象となる回路について演習を行った。実験で得るには時間と技術を要する特性などもきれいに得ることができ、自ら回路図を作成していることもあって、回路の動作について理解を深めさせることができた。	
2 作成した教科書、教材、指導書等				
3 教育実践に関係がある実務経験・委員・講師等 日本臨床工学技士教育施設協議会教育課程等検討委員会委員 日本臨床工学技士教育施設協議会教科書検討委員会委員		2006, 2007年度 2008, 2009年度		
職務上の実績(学術団体や社会等における活動)に関する事項				
事項		年	概要	
1 資格、免許、特許、受賞等 The 18th international conference on lung soundsにてDalmasso prize受賞 日本超音波医学会認定超音波工学フェロー		1993年 1999年7月-2004年6月, 2011年10月-		
2 学術・社会活動上の・委員・講師・実務経験等 日本超音波医学会評議員 日本超音波医学会超音波検査士制度委員会委員 みえメディカルバレー企画推進委員会委員 「ほか1件」		1994, 1995, 2002, 2003年度 1998年7月-2000年5月 2006-2008年度		
研究業績等に関する事項				
著書名、報告書名等		単・共著の別	発行年	発行所等の名称
(著書)				
(報告書等)				
学術論文 学会発表等の題名		発表者名		発表誌名・巻・ページ・発表年等 学会名・発表年・開催都市名等
(学術論文) 1 Real-time adaptive cancelling of ambient noise in lung sound measurement 2 生体軟組織の力学インピーダンスの解析 一半無限粘弾性体上の振動円板モデルに基づいてー 3 胸壁上に置かれた肺音トランスデューサの特性解析 「ほか10編」		A. Suzuki, C. Sumi, K. Nakayama ほか1名 鈴木彰文, 中山 淑 鈴木彰文, 中山 淑		Med. Biol. Eng. Comput., vol. 33, pp. 704-708, 1995 医用電子と生体工学, vol. 37, pp. 243-249, 1999 医用電子と生体工学, vol. 38, pp. 298-308, 2000

<p>(学会発表等)</p> <p>1 Detection of crackles using an analytic signal representation</p> <p>2 解析信号を用いた断続性ラ音の検出アルゴリズムに関する検討</p> <p>3 Detection of continuous adventitious lung sounds using poles of system function</p> <p>「ほか国際学会 24 件、国内学会 82 件」</p>	<p>A. Fuchita, <a href="#">A. Suzuki</a></p> <p><a href="#">鈴木彰文</a></p> <p><a href="#">A. Suzuki</a>, R. Miyake, M. Kawai</p>	<p>The 32nd annual conference of international lung sounds association, 2007, Tokyo</p> <p>第 35 回肺音（呼吸音）研究会, 2010, 東京</p> <p>World congress on medical physics and biomedical engineering, 2012, Beijing</p>
<p>(その他)</p>		